



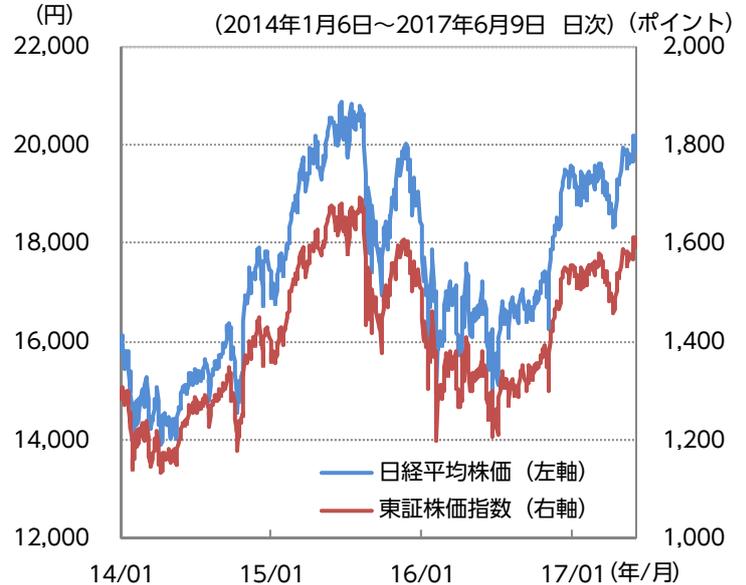
週間市場レポート (2017年6月5日～6月9日)

(1) 日本の株式・債券市場

株式市場の動き

■ 先週の日本株式市場（日経平均株価）は、前週末比で小幅に下落となりました。週初は続落してスタートし、約1カ月半ぶりの水準まで円高米ドル安が進行したことから、6日（火）に心理的な節目となる2万円を割り込みました。週末は、4営業日ぶりに2万円台を回復したものの、英総選挙の結果を受けて、英政治の先行き不透明感が高まるとの懸念から伸び悩みました。（週末引け値：20,013.26円）

■ 週間では、日経平均株価は0.81%の下落、東証株価指数は1.27%の下落でした。

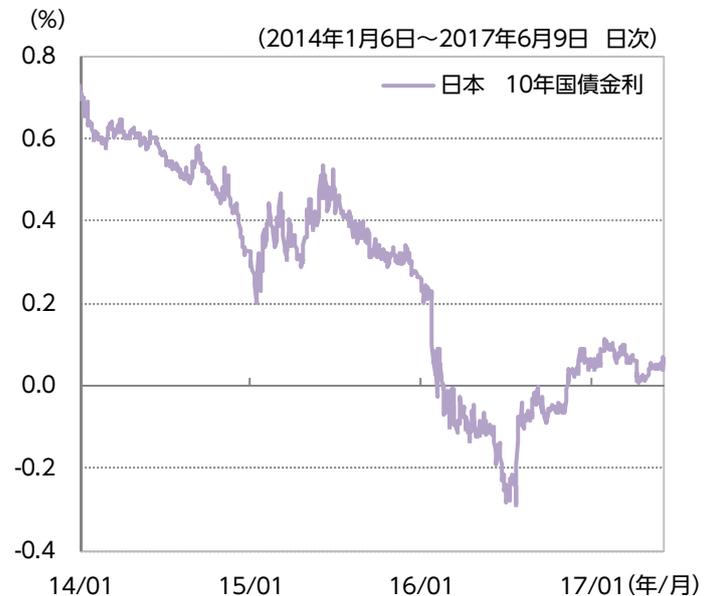


出所：ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

債券市場の動き

■ 先週の日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比で横ばいとなりました。財務省が実施した30年債入札や、日銀が実施した長期債対象の買い入れオペが一定の需要を確認できる結果であったことから、相場の下値は限定的となりました。週末も、日銀が実施した国債買い入れオペが一定の債券需要を示す結果となったことから、長期債に買い圧力がかかり、利回りは前日比で低下となりました。（週末引け値：0.056%）

■ 週間では、10年国債金利は0.001%の上昇となりました。



出所：ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

●当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。●当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料のグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。●投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。●手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品をお勧めするものではないので、表示することができません。●当資料のいかなる内容も将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

(2) 米国の株式市場

市場の動き

■ 先週の米国株式市場（NYダウ）は、前週末比で小幅に上昇となりました。週初は欧州株式相場や原油先物価格が下落していたことなどから、売り先行で始まりました。週央以降は、欧州中央銀行（ECB）の金融政策やコミー前米連邦捜査局（FBI）長官の議会証言、英総選挙はさほど材料視されず、横ばい推移となりました。（週末引け値：21,271.97ドル）

■ 週間ではNYダウは0.31%の上昇となりました。



出所：ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

(3) 外国為替市場

市場の動き

■ 先週の米ドル/円相場は、前週比で小幅に円高/米ドル安となりました。米連邦準備制度理事会（FRB）の利上げペース鈍化が意識され円買い米ドル売り先行でスタートし、6日（火）はおよそ1カ月半ぶりの高値を付けました。7日（水）に公開されたコミー前FBI長官の証言草稿は、政権運営への悪影響は限られるとの受け止めから、週末は米ドルを買い戻す動きが優勢となりました。（週末引け値：110円30銭～40銭）

■ 週間では米ドル/円は0.07%の円高、ユーロ/円は0.86%の円高となりました。



出所：ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

●当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。●当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料のグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。●投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。●手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品をお勧めするものではないので、表示することができません。●当資料のいかなる内容も将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。